



わたなべよしみつ 渡辺義光 議員

質問した事項

- 大更駅東側の開発構想計画について
- 認知症予防と回想法について
- ボランティアポイント制度について
- 鹿角街道筋一里塚について

大更駅東側開発構想の具現化

市民意見を反映させ計画策定



大更駅周辺の賑わい創出施策として駅東側開発が着実に進められていきます(大更両沼)

渡辺議員 大更駅東側の開発構想計画14事業の今後と、市道2線の整備の進行状況、国道282号西根バイパスの歩行者の安全対策について伺います。

市長 大更駅東側は、本年度東口駅前広場や幹線道路4線の土地概略設計を行っており、駅周辺の特性を生かしたまちづくりの検討と事業化を図っていきます。市道大更中央線と山子沢線の整備は、地権者との用地契約が整い次第、工事に着工します。国道282号西根バイパスは、交通量が増

加中で、横断歩道の設置など、県や公安委員会と協議しながら歩行者の安全対策を検討します。

認知症の予防活動に回想法・音楽療法

渡辺議員 認知症予防に回想法や音楽療法の効果が大きいと考えます。市の歴史民俗資料館所蔵の昔の生活用具や民謡、盆踊りなどを回想法に取り入れ、認知症予防活動を展開してはいかがでしょうか。

市長 今後、市でも認知症高齢者の増加が予想されています。回想法や音楽療法なども活用し、認知症予防に取り組んでいきます。

渡辺議員 神奈川県藤沢市では、元気な高齢者が福祉施設などのボランティア活動に対して1時間、100円を取得するボランティアポイント制度を行っています。

て、介護保険料の軽減にもつながっています。導入してはどうでしょうか。

市長 元気な高齢者が介護ボランティアに参加することで高齢者自身の心身の健康、生きがいや介護予防につながるなど良いことですが、導入に当たっては、検討が必要と考えます。

鹿角街道の一里塚 県指定文化財登録に

渡辺議員 平成22年第3回定例会で一般質問した市指定文化財の留之沢、七時雨、荒屋、曲田一里塚についての県指定文化財申請に向けた取り組み状況はどのようになっていますか。

教育長 県教育委員会では、指定に向けた調査を終えたということです。今後、県文化財保護審議会での審議が行われることを期待しています。

※回想法は昔の生活用具や写真などを用いて若い頃の思い出を語り合いながら、脳を活性化させ認知症予防やうつ病症状を改善させようとする取り組みです。医学的にも成果が実証され「昔なつかし教室」などの回想療法が各地で行われています。

欠の山の護岸整備と落石防止

護岸整備は浅沢地区完了後に

立花議員 小屋畑地区(欠の山)の安比川の護岸工事と国道282号の落石防止工事の見通しはどのようになっていますか。

市長 安比川と国道282号は県が管理をしています。護岸工事は、現在実施している浅沢地区の河川改修が完了した後で、それまでは河道掘削などによる維持管理で対応するという予定です。落石防止工事は、定期的にパトロールで監視するなど、当分は様子を見るということです。

立花議員 安比川、JR花輪線、国道282号、落石の恐れがある崖が隙間なく並んでいる状態をどのように改善する計画ですか。

市長 平成19年の大雨災害時に県と協議したときは、安比川を直線にする要望をしましたが、多大な予算が掛かることから、原状回復

の災害復旧工事になった経緯があります。県には抜本的な災害対策を要望していきたいと考えています。

西根病院の移転と文化会館の建設

立花議員 市民感情を二分する恐れがある西根病院の

移転と文化会館建設についての見解を伺います。

市長 西根病院は早期に整備することが求められています。具体的な建設場所は交通の利便性などを考慮し決定していきます。文化会館は広く意見を聞きながら検討します。

県からの権限移譲 現状とこれから

立花議員 県からどのくらい権限委譲されていますか。

市長 パスポートの発給事務や療育手帳の交付など、155項目の事務移譲を受けています。

立花議員 権限委譲を利用して市職員を増やす考えはありませんか。

企画総務部長 権限移譲を受けた場合の職員配置、専門性の観点から採用は慎重に検討していきます。



国道282号・欠の山地点の落石現場



たちばなやすみ 立花安文 議員

質問した事項

- 小屋畑地区(欠の山)の安比川護岸工事、落石防止工事の実施見通しについて
- 市長3期目に向けての市政について
- 権限移譲の進捗状況と今後の予定について



おがさわらひさお 小笠原寿男 議員

質問した事項

■八幡平市産業振興株の経営について

産業振興株の現状と改善対策

民間経営力を加え強化が必要

経営収支改善対策

小笠原議員 八幡平市産業振興株の24年度の営業利益は1000万円を超える赤字ですが、25年度以降の経営改善としてどのような対策を講じていますか。

市長 指摘のとおり24年度は営業利益は赤字でしたが、東京電力からの原発事故による賠償金で、純利益は約86万円です。経費削減に努め、売り上げを伸ばすことを検討しなければならぬと認識しています。本年度は、市産業振興株売り上げ向上実施計画提案要領を定めるとともに、業務改善案を作成し、増益のための職場改善を図っています。

経営検討委員会

小笠原議員 第三セクターの経営は、純粋な利益追求に限らない場合が多いと考えます。役員会や第三セクター等経営検討委員会、どのような協議や検討がされているのですか。

市長 平成23年8月の第三セクター等経営検討委員会報告書で出された「事業間連携で新たな経営を構築し、新規の顧客を獲得するための検討を進めること」に向けて改善に取り組みます。

小笠原議員 今後、経営検討委員会に市内の経営者を入れ、改善提言を求めたらどうでしょうか。

産業部長 産業振興株の経営改善の有効な手段として、今後検討します。

ヤマブドウ製品販売

小笠原議員 本年度のヤマブドウ販売事業などの進め方を伺います。

市長 今後は、民間の増資による市の持ち株比率の引き下げや、民間の経営力を入れた経営強化が必要と考えています。

小笠原議員 6次産業化を進めるため、ヤマブドウの製品販売している産業振興株への経営支援を検討してみたいかがでしょうか。

副市長 産業振興株を取り巻く各産業への支援が、産業振興株の増益につながる方向が望ましいと考えています。

循環型農業と堆肥処理施設

畜産農家の意向調査が必要



従業員が一丸となり、経営改善に向けて取り組んでいる八幡平市産業振興株(道の駅にしね)

工藤議員 完全処理されていないままの堆肥が農地などに散布され、悪臭など環境問題が生じています。衛生面だけでなく、観光面から見ても何らかの対応が必要と考えます。牛などの排泄物を資源化して再利用を図り、環境に配慮した農

業振興を推進するためにも循環型農業に適した堆肥センターの施設整備が重要な施策ではないでしょうか。

市長 家畜排泄物の適正管理を行い、有機資源である堆肥の利用促進に向け、関係団体と一体となって取り組んでいきます。新たな



今年3月、盛岡市玉山区に完成した盛岡市有機物資源活用施設「ひめかみ有機センター」。肥料高騰対策として、家畜排泄物を処理した有機肥料の生産と活用が注目されています

庁舎移転後の西根総合支所体制

工藤議員 西根地区は人口数から見ても推測されます。庁舎移転後の西根総合支所は広範囲な課に対応できる人員と体制が必要ではないでしょうか。

市長 西根総合支所は多くの市民の利用が見込まれます。行政組織機構改革案を基に、人員確保などを含めて検討を続けていきます。

工藤議員 大更駅周辺および隣接地域のまちづくり基本計画を進める中で、今後西根総合支所の位置などをどのように考えていますか。

市長 人口や交通の便を考えると、大更駅周辺への西

東大更地域活性化旧校舎の管理

工藤議員 閉校後の旧東大更小学校校舎の利活用について地域住民と十分な話し合いを行っていますか。

市長 東大更小学校跡地活用協議会からの提言や要望に対して、市として応えられるものなどを協議しています。

工藤議員 利活用方法が決まるまで、市が責任を持って旧校舎の管理をするべきと考えます。

副市長 体育館と校庭は現在、地域で活用されている状況です。今後は校舎なども併せて検討していきます。

くどうなおみち 工藤直道 議員

質問した事項

- 堆肥処理と循環型農業の推進について
- 八幡平市行政組織機構改革と庁舎移転後の西根総合支所機能について
- 東大更地域の活性化について



きたぐち かず お 議員
北口和男

質問した事項

- 市地域防災計画推進について
- 文化財の保護活用について
- 地域づくり計画書推進について

防災器具管理・点検の充実

消防団と協議して進める

北口議員 住宅火災に対応できる消火栓と防火水槽を、今後どのように整備や管理、点検していきますか。

市長 利用地の確保を進め、充足率向上に努めるとともに、消防団と協議の上、火災発生時に使用できるような管理、点検を進めます。

北口議員 林野火災時の自然水利として、河川に緊急用車路や看板の計画的整備が必要ではないでしょうか。

市長 消防団や消防署と情報を共有しながら、消火活動に支障がないよう設置に努めます。

無形民俗文化財の保存伝承振興策

北口議員 市指定無形民俗文化財の保存、伝承活動や広域的発表の場など今後の振興策を伺います。

教育長 現在指定19団体のうち、3つは実質的な活動を休止している状況です。今後も保存や伝承活動に対する支援を継続していくとともに、発表の場として、市芸術祭などで成果を披露してもらいたいと思います。

北口議員 各保存団体の連絡調整のために協議会を設

立し、指導する考えはありますか。

教育長 保存団体が一堂に会する協議会の必要性はありますが、自主的な組織化が望ましいと考えます。

北口議員 田代平高原にある一本桜は、保存対策を早急にしないと枯れてしまうという声があります。市で対策が必要ではないでしょうか。

市長 観光資源の一つでもあることから、対策を施したいと考えます。所有者と協議の上、今後検討していきます。



市民だけでなく観光客からも愛されている田代平高原の一本桜ですが、樹齢を重ねていることから保存対策が必要です

地域づくり計画どのように生かす

北口議員 地域振興協議会で作成した地域づくり計画書をどのように生かし、地域活性化や市政の均衡ある発展につなげていきますか。

市長 計画に基づき、住民がやるべきこと、行政がやるべきこと、協働してやるべきことなど、それぞれの役割を分担しながら、お互い知恵を出し合い、協力してまちづくりを進めていきたいと考えています。

国道迂回路の市道どう確保

県代行による道路整備を要望

大森議員 国道282号は、緊急時に臨時交通規制をして、市道鴨志田線などを迂回路として使用しています。市道鴨志田線の県代行事業による整備の要望内容を伺います。

市長 市道鴨志田線が国道282号と並走し、迂回路の機能を持つていることや、国道282号の荒屋新町地区が住宅や商店が密集しているため、改良整備が難しい状況であることから、冬期間の交通渋滞の緩和と地域生活の安全な道路確保のために、市道鴨志田線の未整備区間を財政負担の少ない県代行事業で整備するよう要望しています。

大森議員 高速道路が通行止めになると大渋滞が発生し、車などが国道に出られない現象が起きていますが、抜本的な解決策の考えはありますか。

市長 毎年11月に、秋田県の関係者も含めた連絡調整会議を開催して情報共有をしています。また、県では臨時規制方法について、市の考え方を聞きながら実効性のある対策を実施したいということですが、

自助・互助・公助で進める商店づくり

大森議員 国内の商店数は昭和55年の約70万店から、平成19年には約43万店まで減少しています。八幡平市はどのような状況ですか。

市長 昭和57年から平成24年までの間に226店舗、約42%減少しています。

大森議員 「自助・互助・公助」で、自立できる商店街を目指すべきだと思えます。

市長 商店個々がアイデアに富んだ事業を展開できるような支援していきます。

大森議員 まちづくりには人づくりが重要です。まちが人を育て、育てられた人がまちをつくるサイクルが必要ではないでしょうか。

市長 産業の継続には人材育成が最も重要と考えます。特に、後継者の育成に力を入れていきます。

大森議員 大更駅周辺のまちづくり計画に合わせた駅前商店街の整備の考えを伺います。

市長 新たな駅前商店街を整備できるマーケティング調査を実施しながら取り組みます。

おおもり りき お 議員
大森力男

質問した事項

- 国道282号関連の臨時規制などについて
- 商店街の振興について



市道と交差し、大渋滞が起きる国道282号 安代インターチェンジ付近



せきぜんじろう 議員 関善次郎

質問した事項

- 災害後の災害防止策について
- 快適に楽しめる観光地整備について

なだれ
国道佐比内地区に雪崩防止策
交通障害ないように実施を要望

議員 国道282号の佐比内地区で、春に雪崩が発生し、車両やJR花輪線が一時通行止めとなりました。今後の防止策はどのように検討されていますか。

市長 県では、雪崩による交通障害が起きないようにトンネル工法によるルート変更計画を進めています。当面は、道路パトロールを強化していくということです。

議員 県の計画では、トンネル内に歩道を設置せず、現在の国道を歩道として使用するようです。通行者の安全のためにも、トンネル工事だけではなく雪崩防止策を要望できませんか。

建設部長 十分危険のないように実施してもらおうよう要望したいと思います。

**兄畑の氣比風穴
 落石防止策を**

議員 兄畑地区の氣比風

穴のある箇所は、土砂崩れにより落石の危険があります。風穴を地域資源として活用できるようにするためにも、落石防止策が必要ではないでしょうか。

市長 崩れている土砂と上部にある岩石の撤去を行うとともに、風穴をふさがないように、のり面を保護する工事で、本年度復旧する予定としています。

**快適に楽しめる
 観光地の整備**

議員 安比高原ブナの二次林内には、散策をする観光客や子どもたちの体験学習など、1日に大型バスが何台も来ることがありますが、二次林入り口付近には迂回する場所がなく、運転手は苦労しているという話を聞きます。大型バス駐車場兼迂回箇所を設置するべきではないでしょうか。



日本森林浴の森100選に選ばれ、散策をする観光客や体験学習を行う子どもたちが訪れる安比高原ブナの二次林

市長 岩手北部森林管理署からは、貯木場に整備した空地を砂利敷きなど、現状復旧できる状態での使用であれば貸し付けできると確認しています。今後、正式な協議を進めます。

議員 ブナの二次林内では、携帯電話が使えないところがあります。万が一に備え、携帯電話会社と協議し、使用できるようにしてはどうでしょうか。

市長 観光客のうち、どの程度の人が必要としているかを判断し、通信業者や岩手北部森林管理署と協議を進めて検討していきます。



第3回都市計画道路大更駅前線地権者会(9月18日)

議員 前回までは、主に「大更駅周辺及び隣接地域のまちづくり環境整備計画」の内容について質問しました。そして、現況把握など、極めてずさんであると指摘しました。今回は、当局自身の対応について伺います。

前回の議会では、この事業の費用135億円という膨大な金額について「一切想定していない」という回答でした。しかし、事業費は事業計画とセットであり、計画は市が策定した計画です。明らかに矛盾ではない

でしょうか。それとも、業者には、事業費用はいくら掛かって良いとして計画策定を委託したのですか。

副市長 135億円という金額は、事業を精査しない段階で出てきたものです。精査して120億円になるのか、極端に言えば200億円になるのかは、一つ一つの実施計画の中で検討していくこととなります。

議員 ということは、135億円を否定する根拠はないということであり、135億円もありうるということではないですか。基本計画という性格を踏まえても、「135億円という金額は想定していない」という前回の回答とは違うこととなります。

また、都市計画道路大更駅前線調査設計検討業務委託の随意契約について言えば、あくまでもその委託業者が事業を執行するに当たって、十分な業務遂行能力があるとともに、誠実に業務を果たす意志があると認められる場合が前提です。しかし、この業者の実績を見れば、随意契約どころか指名競争入札でも、指名業者の対象にならないと思います。

市長 大更駅周辺のまちづくり計画は、八幡平市にとって大事な事業です。これまでの業者に計画策定をお願いして、そのまま事業を実施するような形は絶対に避けなければなりません。議会で指摘された事項についても、一つ一つ業者と議論を交わし、内容を訂正して計画書を再配布ということも検討しました。それらを踏まえた上で、実施計画を進めていかなければだめだという認識で協議をしています。

実施計画で検討することに

事業費135億円の可能性



まいたさだお 議員 米田定男

質問した事項

- 「大更駅周辺まちづくり計画」について

でしようか。それとも、業者には、事業費用はいくら掛かって良いとして計画策定を委託したのですか。

副市長 135億円という金額は、事業を精査しない段階で出てきたものです。精査して120億円になるのか、極端に言えば200億円になるのかは、一つ一つの実施計画の中で検討していくこととなります。

議員 ということは、135億円を否定する根拠はないということであり、135億円もありうるということではないですか。基本計画という性格を踏まえても、「135億円という金額は想定していない」という前回の回答とは違うこととなります。

また、都市計画道路大更駅前線調査設計検討業務委託の随意契約について言えば、あくまでもその委託業者が事業を執行するに当たって、十分な業務遂行能力があるとともに、誠実に業務を果たす意志があると認められる場合が前提です。しかし、この業者の実績を見れば、随意契約どころか指名競争入札でも、指名業者の対象にならないと思います。

市長 大更駅周辺のまちづくり計画は、八幡平市にとって大事な事業です。これまでの業者に計画策定をお願いして、そのまま事業を実施するような形は絶対に避けなければなりません。議会



みうら ただし 議員

質問した事項

- 3期目に向けての市政について
- 過疎債の利用について

資源エネルギー今後の進め方

発電事業開始へ支援していく

三浦議員 将来の資源エネルギーについて、今後どのように進めていこうとしますか。

市長 松尾八幡平地域と安比地域で地熱発電の開発が進められているほか、安比地域で木質バイオマス発電

の開発が予定されています。市では、これら民間事業者が発電事業を開始できるよう支援していきます。



5月29日に行われた松尾八幡平地域地熱資源開発調査事業の開杭式と安全祈願祭。今後、出力7000kW級の発電設備を建設し、平成28年の送電開始を目指しています

三浦議員 平成17年第1回定例会の所信表明で述べたとおり、2期8年の市政は花を咲かせ、実をつけたのか伺います。また、3期目に向けての新しい目玉施策はありますか。

市長 市の将来像「農と輝の大地」は、確実に八幡平市のイメージとして定着してきていると思います。実をつけたかは、合併後10年の検証をした上で評価するものと考えます。3期目に向けての新しい目玉施策は、次期総合計画で具体的に構築していきます。

老朽施設解体に条件付き過疎債を

三浦議員 老朽化による公衆施設の解体をどのように考えていますか。

市長 公共施設を計画的かつ効率的に新設、運用、管理、更新などを行うため、公共施設マネジメント計画の策定に向けて検討を行います。また、国では老朽化した公共施設の解体財源として、条件付きで過疎債の発行を認める方針が示されたところですので、有用な制度となるよう国に要望していきます。

三浦議員 過疎債のソフト事業の対象に、高齢者の保健と福祉の向上、増進とあります。地価の高い都市部の福祉施設を八幡平市へ移住促進し、過疎地の自立と雇用の拡大につなげることはできないでしょうか。

市長 定住促進と雇用拡大には、創意工夫を凝らし、先進的な事業を展開しなければなりません。これらに資するアイデアとして、今後の参考とします。

学校適正配置の運営対策

地域ぐるみの教育活動を図る



いとう かずひこ 議員

質問した事項

- 学校の適正運営について

伊藤議員 八幡平市内の小学校では、今後入学児童が1桁やゼロの学校が出てくると推計されています。小規模校には、集団の中で多様な考え方に触れる機会や学びあいの機会、切磋琢磨する機会が少ないなどの多くのデメリットが指摘されている中で、子どもが平等に生きる力を培うことができる教育を将来にわたり保障されている観点から、適正配置の学校運営をどのように考えていますか。

教育長 学校でのグループ活動や集団学習などを通じて教育活動は、基礎学力の向上を図るとともに、豊かな人間関係の構築や社会性を習得する上で重要です。しかし、学校の小規模化が進行すると、このような活動効果を得ることは難しくなります。市の将来を担う児童生徒が多様な人との関



少子化の進行により市内の小学校入学児童は減少傾向です(本年度の田頭小学校入学式。新1年生は8人でした)

わりの中で、豊かな人間性や社会性、創造性を身につけるためには、一定の人数や学級が必要と考えます。八幡平市では、少子化の進行や地形上の人口分布、地域の文化、歴史、各学校の施設などを勘案し、地域に密着したきめ細かな教育を

生かしながら、小学校が6学級、中学校は3学級を基本として学校の適正配置を進めています。

小規模校の部活動希望種目の選択

伊藤議員 小規模校であるため、中学校のクラブ活動

で希望種目の選択が阻害されています。高校進学からの選択は、他校の生徒と比べて、一からのスタートになるため、断念せざるを得ないことに対してどのような見解を持っていますか。

教育長 市内の中学校では、全ての種目の運動部が設置されているわけではなく、希望する部活動に限られ、希望する部活動に取り組むことができない生徒がいることは否定できません。生徒のニーズに応えられる選択肢がある状況が望ましいですが、希望する種目だけでなく、教育活動の一環であることも鑑み、仲間と協力することの大切さを学び、充実感や達成感を味わい、自分が輝ける場をつくっていく態度を育てていくことが重要です。また、区域外就学で選択肢を広げるのも手法の一つと考えます。

教育民生常任委員会

田中榮司夫(委員長) 渡辺義光(副委員長) 米田定男
三浦 侃 関善次郎 小笠原壽男 伊藤一彦 工藤 剛

■期日・場所 8月5日(月)=神奈川県藤沢市、6日(火)=神奈川県介護ロボット普及推進センター
■内容 高齢者福祉に関する所管事務調査



介護ロボット普及推進センター(8月6日)

神奈川県は、介護などの現場でロボットを導入するための普及推進事業を行っています。県と事業協定を結ぶ特別養護老人ホームでは、メンタルコミットロボット「パロ」やコミュニケーションパートナーロボット「パルロ」などを導入し、介護現場の中で活用していました。

◎神奈川県藤沢市
藤沢市では、介護予防の取り組みとして、元気な65歳以上の人が市内の特別養護老人ホームなどで行うボランティア活動(1日1時間)に1ポイント(100円)を与え、ポイントを現金に転換できる「いきいきパートナー事業」を行っています。
◎神奈川県介護ロボット普及推進センター
神奈川県は、介護などの現場でロボットを導入するための普及推進事業を行っています。県と事業協定を結ぶ特別養護老人ホームでは、メンタルコミットロボット「パロ」やコミュニケーションパートナーロボット「パルロ」などを導入し、介護現場の中で活用していました。

社会奉仕で介護予防 介護現場にロボット

産業建設常任委員会

古川津好(委員長) 立花安文(副委員長) 松浦博幸
高橋悦郎 田村 孝 小野寺昭一 遠藤公雄 渡邊 正

■期日・場所 8月20日(火)=山梨県甲府市、21日(水)=山梨県大月市
■内容 農業の振興、観光産業の振興に関する所管事務調査



山梨県大月市(8月21日)

山梨県大月市は、遊休農地や荒廃農地を活用し、非農業者にも農業に対する理解と農家との交流の場を提供し、農業振興と地域の活性化を図る貸付型のふれあい農園を開設しています。首都圏から近い立地条件を取り入れ、交流人口を増やしなが、地域の活性化に結び付けています。

◎山梨県甲府市
甲府市は、溪谷美「昇仙峡」や温泉地、武田信玄ゆかりの史跡が豊富であるとともに、県都としての芸術文化施設が集約されています。観光キャンペーンを数多く開催し、これらの観光資源に事業を結び付け、現地集合の着地型観光ツアーを実施するなど交流人口を増やしています。
◎山梨県大月市
大月市では、遊休農地や荒廃農地を活用し、非農業者にも農業に対する理解と農家との交流の場を提供し、農業振興と地域の活性化を図る貸付型のふれあい農園を開設しています。首都圏から近い立地条件を取り入れ、交流人口を増やしなが、地域の活性化に結び付けています。

着地型観光で活性化 ふれあい農園で交流

議会広報特別委員会

高橋悦郎(委員長) 高橋喜代春(副委員長) 小野寺昭一
古川津好 渡辺義光 立花安文

■期日・場所 6月26日(水)・粟石町
■内容 議会報告会についての所管事務調査



粟石町(6月26日)

粟石町では、議会改革の一環で、住民の皆様から広く意見、要望を聞く「住民と議会との懇談会」を25年度から本格的に実施しています。実施に当たっては、議長と副議長を除く議員18人を全ての常任委員会の委員が入るよう3班に編成し、各班に議長または副議長を加えたメンバーで地区を分担しています。懇談会では、町政に対する住民からの意見や要望を聞くことに重点を置いています。また、開催後は、意見や要望などの取りまとめを行い、議会広報に掲載するとともに、会議録と懇談会のときに回答を保留していたもので、町当局から回答を得たものをホームページに公開しています。

町民からの意見聞く 議会と住民の懇談会

高橋議員 都市計画道路大更駅前線の事業実施に当たり、地権者全員の同意がなければ、国の社会資本整備交付金の申請ができないのですか。
建設部長 地権者全員の同意が得られた時点で交付金の認可となります。
高橋議員 24年度の都市計画道路大更駅前線街路整備検討業務の報告書の中には、事業費が約17億円とありますが、間違いありませんか。
建設部長 あくまでも、全国的な平均で積算した場合のものです。

高橋議員 この大更駅前線を含めた大更駅周辺開発は、22年度から「大更駅周辺及び隣接地域のまちづくり環境整備計画」策定が始まり、25年度までに業務委託で1億円を超える事業費を掛けたいです。4年間の業務委託の契約方法と受注した業者名を伺います。
建設部長 22年度は指名競争入札を行い、23年度は業務が密接に関係することなどから22年度と同じ業者と随意契約しました。24年度には指名競争入札をしましたが、25年度は前年度の業

務内容と大きなかわりがあることなどから24年度と同じ業者と8400万円程度の随意契約をしています。いずれの受注業者も東日本総合計画(株)北東北支店です。
高橋議員 25年度に契約した業務委託の設計書では、直接人件費が約4000万円、残りの四数千百万円はその他の経費など一般管理費とあります。直接人件費より、その他の経費が多いことには納得できません。一般管理費とは、具体的にどのようなものに使われるのですか。

建設課長 事務用品費や業務を行う事務職員の人件費、光熱水費など会社を維持する経費が入っていると国の基準で定められています。
高橋議員 建設課長の説明では4000万円以上も掛かる内容とは思えません。

具体的何にいくら掛かる経費か分らないのですか。
副市長 その経費の根拠を、市独自でやる能力を持ち合わせていないので、国の補助事業を導入すると、国の基準に基づいた業務委託を発注せざるを得ません。

市独自には持っていない

まちづくり委託費の根拠



たかはし えつろう
高橋悦郎 議員

質問した事項

■「都市計画道路大更駅前線事業計画」について



都市計画道路大更駅前線が計画されている路線(大更上町)